

# 平成 30 年度 竜王町教育委員会の権限に属する事務の管理および執行状況 の点検および評価にかかる報告書の概要

## 1. 点検・評価の位置づけ

平成 20 年 4 月施行「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正を受け、竜王町教育委員会では、毎年 6 月から 8 月の間に、前年度における教育委員会の権限に属する事務の管理および執行状況の点検および評価を実施しています。そして、評価結果をとりまとめ、9 月定例議会中に議会に報告するとともに、ホームページ等を用いて住民の皆様にご公表する方針を平成 21 年度に決めました。

このことから、平成 29 年度教育委員会活動をはじめとする「平成 29 年度竜王町教育行政基本方針」に基づく事務について、点検および評価を実施しましたので概要を報告いたします。

## 2. 具体的な取組の経過

6 月 ・教育委員会 各所属における所掌事務の一次評価実施とその集約

「教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務」

・評価委員 3 名については前年度からの継続（任期：平成 29 年 4 月 1 日から 2 年間）

| 氏 名    | 分 野  | 所 属 等                                  |
|--------|------|--|
| 河口 眞佐男 | 学識経験 | 国立大学法人滋賀大学教職大学院教授<br>滋賀次世代文化芸術センター運営委員 |
| 大谷 五十二 | 学校教育 | 小学校英語教育学会（JES）理事<br>びわこ学院大学非常勤講師       |
| 飯村 悟   | 社会教育 | 近江八幡・竜王少年補導委員会副会長<br>竜王町社会教育委員         |

7 月 ・教育委員による一次評価

「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理執行する事務」

・第 1 回 事務評価委員会 7 月 10 日（火）開催

一次評価にかかる不明な点や加筆が必要な箇所を中心に協議

・定例教育委員会開催

一次評価の全体協議

・第 2 回 事務評価委員会 7 月 31 日（火）開催

「平成 30 年度竜王町教育委員会事務評価にかかる二次評価」を取りまとめる。

8 月 ・定例教育委員会を開催し最終確認

## 3. 点検・評価の対象：「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理・執行する事務」

「教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務」の 3 項目

平成 29 年度竜王町教育行政基本方針にある 5 つの重点目標と、具体的に取組んだ 26 の重点施策について点検・評価を実施

## 4. 以下に、評価の一部を記載

### 【全体を通して】

- ・昨年度までの 4 段階評価を A の上位に新たに S を設け 5 段階評価とし、さらなる高みをめざすための課題整理をしたことは、PDCA を着実に回していくためにも非常によい方向である。
- ・人口 12,000 人余りのコンパクトな自治体故の利点を遺憾なく発揮されているが、学校園数が少なく、切磋琢磨し互いに刺激し合う機会が限られているが故の課題もしっかりと認識すること。
- ・全国の先陣を切って国の業務改善加速事業を受託し、業務改善アシスタントを全小中学校に配置し、教師力・学校力向上の素地を固められたことは評価したい。

### 【教育委員会の活動】

- ・総合教育会議を年に 3 回開催し、教育行政推進にかかる課題を首長と共有し、これの解決に向け

取り組んでいるのは評価できる。今後、会議の回数やテーマ設定のあり方についても検討を加え、竜王町の更なる教育振興に向け、より有意義な機会となるよう努められたい。

- ・教育委員が学期ごとにテーマを設定して校園へ訪問を継続しているのは素晴らしい。今後、一般教職員との意見交換や休み時間の子ども達の様子を参観することで、それぞれの校園が抱える個別具体の状況が見えてくると考える。

### 【教育委員会が管理執行する事務】

- ・総合教育会議において、教育大綱に代わるものとして毎年度の教育行政基本方針を充てることとしたのは、事業評価の適正さを担保する上でも評価できる。

### 【教育委員会が管理執行を教育長に委任する事務（教育行政基本方針の重点目標、重点施策に基づく事務）】

#### 1. 「社会を生き抜く力」の着実な育成を図る学校・園教育の推進

- ・竜王町の学校支援地域本部の取組は全国から注目される取組である。これからも学校の教職員との意見交流を深め、「より分かる授業」「子どもの体験が生きる授業」のために機能する活動になることを期待している。
- ・竜王町が様々な教育課題に先進的な取組を推進されていることは素晴らしいことだが、学習活動に積極的な子が少ないのではないかと。「主体的・対話的で深い学び」の観点から、更なる授業改善が進むことを期待したい。

#### 2. 子育て支援の充実と青少年の健全育成

- ・就学前教育の質的充実が益々重要となる。保護者のニーズに応えつつ、一層の充実を図ることは難しい課題であるが、この反駁する課題解決に向け竜王町だからこそ出来る子育て支援のあり方を検討して頂きたい。
- ・発達支援課と協働での高等学校への訪問を通して、高等学校と連携し、町内在住生徒の早期支援につなげられたのは評価できる。

#### 3. 生涯学習の推進と次代への継承をめざす文化財保護の推進

- ・学区に拘らず全町を対象とした学校支援地域本部設置の竜王方式の取組は、特筆に値する。竜王町の地域特性を活かした学校園の活性化に大いに寄与している。地域ボランティアの高齢化という課題はあるが、次へと継承していけるものと考えられる。
- ・竜王町公民館の取組や賑わいは素晴らしい。キッズクラブやキッズスクールも竜王らしい取組だが、参加している子の「のべ」人数は多いものの、同じ子がいくつもの取組に進んで参加し、参加していない子は全く無関心といった二極性が目立ってきているように思われ、参加する子どもの総数を増やす取組が必要である。

#### 4. 「あらゆる差別のない明るく住みよいまちづくり」をめざす人権教育の推進

- ・「人権啓発セミナー」を5回開催され、人権を考える機会提供と内容の充実に努められたのは評価できるが、受講者に固定化がみられるとのこと、今後、一般市民の受講（参加）に向けた啓発が課題である。

#### 5. 「スポーツの日常化」をめざした健康体力づくりの推進

- ・2024年滋賀国体において、スポーツクライミング競技の開催地が竜王町に内定したことは、県内、全国的にも知名度は低いのではないかと。今後の普及啓発が課題である。特に、ボルダリングを町のシンボルスポートにする以上、内定を機に益々盛んになって欲しい。

### 総括

- ・竜王町教育委員会として、平成30年度後期の事務事業実施に当たり、PDCAを着実に回すとともに、今回の点検評価で頂いた意見や提案を踏まえ、課題克服に向けた改善と一層の充実をめざす取組について、スピード感を持って進めていきます。